

# 川崎医科大学学報

川崎医科大学学生版学報編集委員会

## 第4号

平成18年6月27日

学生版



新入生オリエンテーション学外研修（閑谷学校）

## 目

巻頭言	人生の宝探しをしよう	2
	学長 植木 宏明	
情報	教務・臨床実習	3
	副学長 福永 仁夫	
	ダ・ヴィンチ・コードから	4
	学長補佐 湊川 洋介	
	平成17年度	
	「学生による授業評価」のまとめ...	5
	点検・評価担当 副学長 佐々木和信	
	自己点検・評価委員 副学長補佐 大内 正信	
	新任学年担当・学年副担当より一言	6
	第5学年 副学長補佐 岡 三喜男	
	第5学年 学年副担当 長谷川 徹	
	学年副担当より一言	7
	第1学年 学年副担当 岩月 宏彦他	
特集	校舎棟増築・改修の現況報告	10
	総務部 企画室	
	新入生オリエンテーションを終えて	
	体験・講話報告	11

## 次

学友会	学年代表者会議（1学期）報告	14
	総務委員長 第3学年 北田 憲一	
	西医体新任評議委員の抱負	15
	第4学年 菅 篤志	
	第4学年 大淵 彰之	
	第32回学園祭に向けて	
	学園祭実行委員長 第3学年 布上 敏和	
	クラブ紹介「水泳部」	16
	主将 第4学年 大畑 絢	
	学友会活動報告	17
話題	ツクツクボウシ	
	外科学 胸部心臓血管 教授 種本 和雄	
伝言板	ふるさと紹介	18
	第1学年 竹内 淳他	
学内紹介	庶務係	20
	学務課庶務係長 加藤 弘幸	

# 人生の宝探しをしよう

学長 植木 宏 明

皆さんは子供の頃に宝探しをして遊んだことがありますか？ 私が子供の頃には、海岸や砂浜あるいは海中に大人が宝物を隠しておいて、それを見つけた人は取得できるし、皆の前で発表され、拍手喝采を浴びるようなゲームがありました。無論、海中では深く潜ることが出来た方が有利です。たくさんの知識や経験、泳いだり探したり何かを見つける技術が必要です。海底の岩や海草の陰にあって見えにくいものもあります。十分に泳ぎ廻る技術、見えにくいものを見る技術、誰もが見落としているものを見つける技術が大切ですが、逆に表面に漂っている宝物もありました。誰にでも見える宝物が案外見過ごされているのです。しかし、まず必要なのは、宝物を得よう、見つけようという好奇心、意欲、情熱です。



医学の勉強も宝探しの面があります。思いがけないところに知識や技術、また回答が隠されていることがあります。同じ書物を読んでも、ただ知識だけを増やした人、何度読んでも興味が湧かない人、知識や術が頭や心に入らない人、それに対して、一度読む内に、内容に魅せられ、感動し、その中に素晴らしい宝物を見つける人など様々です。

中国のある人は“眼光紙背に徹す”という言葉を残しております。書物を読む時に真剣に読めば、紙の裏側まで読めるという意味です。またある古代人は“心茲にあらざれば見えども見えず、聞けども聞こえず、食らえどもその味を知らず”、フランスの詩人は“人は所詮、既にその人の心の中にあるものしか見えない”と書き残しております。

医学の学習も宝探しであり、その意欲と情熱が心の中になれば、医学の知識や技術といった宝物を見つけることは出来ません。そして、人生最大の大切な宝物は、真の友人であり、それと同時に皆さん自身の心の中にあります。

よき宝物をもちながら、生涯それに気付かないとしたら、残念なことです。よき友人、よき心の宝物を探しましょう。宝物はどこにでもあります。

## 情報①

## 教務・臨床実習



副学長(教務担当) 福永仁夫

## ・共用試験のCBT

共用試験のうち、知識を問う computer based testing (CBT) は、客観試験の一つであり、多肢選択問題 (multiple choice question、MCQ) からなる。

MCQは、

- (1) 単純五肢択一形式 (タイプA) 「正しいのはどれか」など
- (2) 多肢選択連問形式 (タイプR) 定められたテーマについて、多数の選択肢から正答を選ぶ
- (3) 順次解答4連問形式 (タイプQ) 初診から診断に到る過程での情報収集力と、その情報の解釈力を評価

- M4がCBTを受験するが、モデル・コア・カリキュラムを熟知すること。
- 色々違った段階の正しいものがあって、その間の違いを識別する能力、判断力が問われる 単純な真偽ではなく、one bestが求められる。
- 診療参加型臨床実習の開始前までに修得しておくべき、必要不可欠な医学的知識を評価される。
- 知識の想起 (型) よりも解釈 (型) や問題解決 (型) 能力が求められる。

実際のCBTでは、

- 人名は、カタカナと原語が併記される。
- 年齢別呼称 (表1) は、知っておくべきである。

## ・第100回医師国家試験の概要

第100回医師国家試験は、平成18年2月18日(土)~20日(月)の3日間に亘って行われ、3月29日(水)に合格者が発表された。

合格基準は、

- (1) 一般問題：137 / 198点 (69%)
- (2) 臨床問題：389 / 597点 (65%)
- (3) 必修問題：160 / 200点 (80%)
- (4) 禁忌肢問題選択数：2問以下

の(1)~(4)のすべての合格基準を満足する必要がある。

医師国家試験は、平成17年から改訂され (表2)、現在の医学や医療が抱える問題点 (医の倫理、医療安全、健康被害、生命に直結した緊急性を要する病態・疾患など) も出題される。

特に、必修問題には、講義のみならず、診療参加型臨床実習 (クリニカル・クラークシップ、CC) の成果が問われる問題が出題される (表3)。そのため、今年度から開始するM5でのCCは、教員と学生の意識改革が必須である。

第100回医師国家試験の総評が、MECホームページに掲載されているが、それによると、

- (1) X2問題が増加 (五肢択一ではなく、正答を2つ選択する形式)
- (2) 必修臨床の難易度が上昇
- (3) 画像 (皮膚病変、病理所見なども含む) が多数出題
- (4) 治療問題 (最初に行う治療、最も適切な治療など) の増加が特徴的
- (5) 公衆衛生、解剖・生理の重要性が指摘されている。

表1

## 年齢別呼称

- 4 週 未 満：新生児  
 4 週 ~ 1 歳未満：乳児  
 1 歳 ~ 12 歳：男児、女児  
 13 歳 ~ 18 歳：男子、女子  
 19 歳 以 上：男性、女性

表2 医師国家試験の動向 (平成17年からの改善事項)

- 【出題内容に関して】
- 基本的診療能力に関する出題の充実
  - 医の倫理
  - 患者の人権
  - 医療面接
  - 臨床研修において経験する事が期待されている症候・病態・疾患の出題に配慮
  - 医療安全対策
  - 医薬品等による健康被害
  - 健康危機管理
  - 診療参加型実習、実技試験導入を踏まえて臨床実習の成果が反映される問題を出題
  - 良質な視覚教材の出題
  - 病歴・身体所見などの情報を中心に臨床的思考過程と判断能力を問う出題の充実
  - 高頻度な疾患や生命に直結した緊急性を要する病態・疾患を相当数出題

表3

## 必修の基本的事項

1. 患者の人権、医の倫理
2. 社会と医療
3. 診療情報と諸証明書
4. 人体の構造と機能
5. 医療面接
6. 主要症候・身体診察
7. 一般的な身体診察
8. 検査の基本
9. 臨床判断の基本
10. 初期救急
11. 主要疾患・外傷・症候群
12. 治療の基礎と基本手技
13. チーム医療
14. 生活習慣リスク
15. 心理・社会的側面についての配慮
16. 医療の質と安全の確保
17. 一般教養的事項

## 情報②

## ダ・ヴィンチ・コードから

学長補佐(学生担当) 湊川 洋介



ダン・ブラウン作「ダ・ヴィンチ・コード」、キリスト教にまつわる影の歴史をレオナルド・ダ・ヴィンチが彼の作品に暗号として忍ばせ、後世に残したと言う。その謎解きを事件と絡ませて追いかける。ダ・ヴィンチが忍ばせた巧妙な暗号を古代の儀式や考え方、風習などをもとに、一つずつ解き明かしていくスリルは格別である。このスリルは生命科学研究の面白さと相通ずる。神の力というべきか、宇宙を創造した絶対的力と言うべきか、兎に角、我々の及ばない力で造り出されたこの宇宙、この地球で、この絶対的力が仕組んだ巧妙な命の仕組み、暗号を一つずつ解きほぐしているのが生命科学研究であると言える。ダン・ブラウンと言う作家が仕組んだ謎解きでもこんなに面白い。人間を超えた絶対的力が仕組んだ謎はもっと複雑で、巧妙で、精緻で、深遠である。モナ・リザにしる岩窟の聖母にしる元をただせば木の板か布地に絵の具で描いたものであり、その材料が全部目の前に揃ったからと言ってモナ・リザが描出されるわけではない。そこにレオナルド・ダ・ヴィンチの天才の意図があってはじめてモナ・リザとなる。目覚まし時計の部品が揃っていたとしても、それを動かせるように組み立てられないのと同じである。部品の組立には順序があり、一つ間違えても動く代物にはならない。如何に生命科学研究が進み、命の仕組み、仕掛けがわかり、その材料となるすべての分子を揃えることが出来ても人間の手で葉っぱ1枚、アリンこ1匹造ることは出来ない。進化と言う膨大な時間経過の中でつむぎ出された寄せ木細工のような命の階層構造無くしては命は生まれ得ない。しかし、絶対的力、自然はいともたやすくその命をつむぎ出し、今もつむいでいる。その事に何の不思議も感じず我々はその命を食膳に捧げ、我々の命を永らえさせる糧としている。片や生きている命であり、片や死んだ命である。如何に多くの分子から成るとはいえ、その分子群としてはどれほどの違いがあろう。しかし死んだ命を生き返らすことは出来ない。命の段階構造が壊れると修復することが出来ないのである。たとえ1個の細胞といえども。ましてや、絶対的力が造った仕掛け無しには化学合成された分子を操作して命を造るなんて決してあり得ない。ここに命の不思議を見る。絶対的力の偉大さを見る。生きていることのかげがえの無さを見る。生命とは造り出すものではなく、与えられるものである。生命に対して謙虚であらねばならない訳がここにある。

絶対的力が仕組んだ仕掛けの最深奥へ至ることは人間には出来ない。にも拘らず、その謎を一つでも解けた時は、その力に触れた想いがして、敬虔な気に打たれる。

ダ・ヴィンチ・コードから受取った一つのメッセージである。



# 平成17年度 「学生による授業評価」のまとめ

点 検・評価担当 副 学 長 佐々木 和 信  
自己点検・評価委員 副学長補佐 大 内 正 信

## A. 「学生による授業評価」のこれまでの経過

1. 個々の教員による個人的な調査が行われてきた。
2. 全学的な調査は、過去、次のような経緯で進められていた。  
平成12年M4のブロック講義の学生評価を実施<記名式で試行>  
平成13年M4のブロック講義<無記名で試行> いずれもブロック講義の評価  
M2の基礎系講義の評価  
平成14年M5の臨床実習の評価の試行

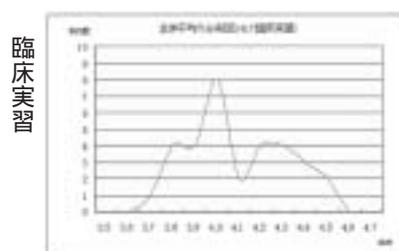
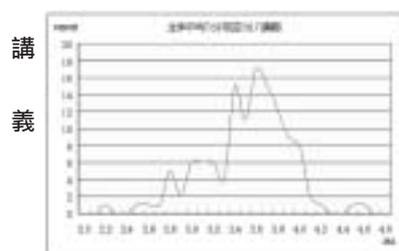
## B. 今回の調査の特徴

1. 大学評価機関による第三者評価を念頭において実施。
2. 平成17年2学期に実施。
3. 全学的に同時期に、マークシート方式で行った。
4. 学生実習はM5の臨床実習のみを対象とし、非臨床系の学生実習は除いた。
5. 学生が自由に書き込める欄を設けた。
6. 集計結果ならびに調査票は担当教員に返却、集計結果は所属長にも報告した。

## C. 評価の結果

1. 実施科目数と調査した教員数
 

M1	15科目	11名
M2	5科目	9名
M3	7科目	37名
M4	11科目	50名
M5	32教室の臨床実習	
M6	集中講義	11名
評価科目総数	40科目	
評価教員総数	118名	
(講師・助教授・教授総数 189名<4月1日現在>の62%)		
2. 講義の平均値  
3.51<選択科目も全て含んだ平均値> (4 < n < 116)  
最高値 4.64 (n=4) 最低値 2.24 (n=37)
3. 臨床実習の平均値  
4.16 (13 < n < 31)  
最高値 4.50 (n=29) 最低値 3.74 (n=16)



## D. 今回の調査の問題点

1. 回収数の問題：M1では選択科目を除くほとんどの科目で100名以上の回収数があった。  
M2では回収数平均72枚。  
M3では28から92の回収数で多くは50枚以下。  
M4では24から86の回収数で多くは50枚前後。  
M6では28から64の回収数で多くは40枚前後。  
M5の臨床実習は2学期に行ったため、調査グループが少ない教室が多い。
2. 設問の意図がわかりにくかったという学生の意見があった。
3. 学生が調査の意義を強く感じなかった。

## E. 平成18年度の調査の変更点

1. 調査を1学期と2学期にわたって行う。<調査科目・教員数を増やす・臨床実習での調査学生数を増加させる>
2. 質問内容の検討(質問項目の減少と変更)とマークシート用紙に協力要請文を入れる。
3. 非臨床系学生実習の調査を実施する。
4. アンケート用紙は、M5の臨床実習用とそれ以外の学年用の2種類を用意。
5. 集計結果を教員に返却するとき、「授業評価に関するアンケート」を実施する予定。

## 情報④

## 新任学年担当より一言

## ヒトと生物、人と動物

第5学年 副学長補佐 岡 三喜男



最近、余暇に動物記をみることもある。動物記は、医学を学んだものにとって生物の本能に触れる身近な画像である。小虫から哺乳動物まで、あくまでも生きるための術を身をもって子孫へ伝えている。生物によって時期は異なるが、深い愛情で育て

た子供達を自立させるため、無情にも突き放す、時には崖から突き落とす親の姿には感涙してしまう。突き放された「子供達は、親たちを後に力強く飛び立っていく」のである。飛び立った子供達は当然のごとく自立し、自らの家庭を築く。これらの行動は考える脳をもった生物が誕生して以来、繰り返されてきた生物の本能と理解している。当然、「脳をもった生物であるヒト」もその本能を具備しているはずである。

一方、社会で人が精神的自立を意識し始める時期、私見では高校卒業ないし自身の進路を決定した時ではないかと考えている。医師をめざした時でもある。当然、親もそのことを強く意識すべきであり、自立を期待しているはずである。とくに医師は、肉体的にも精神的にも病める人達（患者）を診る天職として、社会は自身の命を託す医師に対して、「医師は際だって自立した人であるべき」と考えている。その結果、納税者である国民は全医学教育に多額の税金を投入している。私が留学した米国の研究所では常時、将来、医学部進学をめざす中高校生や大学生が実績とボスの推薦状を求めて、休暇を問わず研究室で真剣に働く姿が強く印象的であった。彼らの目は輝き、医師をめざした時、既に自立していたのです。

しかし日本の現実には……最近、いつの間にか貧しい社会欲がヒトの本能までもねじ曲げている事件が多くみられる。社会環境がヒトの本能を変えてしまった瞬間である。市井では、表現はともかく「人は本能を忘れ、畜生以下になりさがった」と、よく耳にする。ヒトが人へ進化し、悲惨にも最悪のシナリオへ向かっている。

最高学府で自ら学ぶ使命を負った医学生には幸い、「ヒトと人」の違い、「遺伝子と環境」を現実として考える絶好の機会が与えられている。

## 新任学年副担当より一言

## 学ぶは一生

第5学年 学年副担当 長谷川 徹



このたび第5学年担当の岡三喜男教授の下で皆さんのお世話をさせていただくことになりました。私は1977年4月に本学の5年生として皆さんと同じ環境にあり、いよいよ臨床実習が開始され緊張した気持ちで白衣に袖を通したことを昨日のよう

に覚えています。それまでは文字を前にしか勉強してこなかったものが、実際に患者さんを通して学ぶ環境に移り、医師になるための最終教育段階に入ったわけです。

今年度から本格的なクリニカルクラークシップの導入により、皆さんはチーム医療の一員として行動することになります。そこでは個人的なわがままは自重しなければいけません。さらには初対面の患者さんに信頼していただける人格を身につけなければいけません。このようなことを、いきなり言われても雲を掴むような感じを持たれることと思います。

ジョーンズ・ホプキンス大学医学部の創始者、ウィリアム・オスラー博士は医学生に対して“formation of habit”の重要性を、特に“考える習慣”“学ぶ習慣”“行動する習慣”“創造する習慣”の獲得を強調されました。これはそのまま医師に対しても言えることで、非常な努力と自己規制が必要となります。しかし、苦しくても一旦身に付けるとその先には利息がつくともおっしゃっています。私はさらに皆さんにお願いがあります。皆さんの目標はもちろん医師国家試験合格にあります。是非、医師になるまでに“患者さんに尽くす習慣”を学んでいただきたいと願っています。

“学ぶは一生”と言いますが、医学を学び、そして本格的に医術を学ぶ出発点に立たれた皆さんが、無事、2年後の医師国家試験に合格し、川崎医科大学卒業生としての誇りを持てる医師となれるようお役に立ちたいと思っています。共に学んでいきましょう。

## 学年副担当より一言

### 私の心に残る学生

第1学年 岩月宏彦



A君は3年かけてやっと2年生になれた。2年生の最初の授業が私の担当する組織学総論だった。彼は一番後ろの席に居た。“A君、医師になりたいのなら君の席はここだ！”と言って、最前列の席を示した。彼はとまどいながらも、荷物を持って

最前列にやってきて受講した。講義後、“どの科目もその席で受講したら来年は3年生だよ！”と言って別れた。彼はそれを実行した。その年はぎりぎりの成績だったが3年生に進級できた。その後、彼の努力が報われ、6年生の成績は学年のトップ10に入っていた。彼の努力には脱帽した。

B君の1学期の組織学の成績は40点であった。非常に真面目に講義・実習に参加している彼に成績の悪い原因を尋ねると、“どこが解らないのかがよく分からない。”との事だった。基本的な受講の仕方と、実習の進め方を説明した。その後、私が他の学生達からの質問をディスカッション顕微鏡を使って応答していると、いつも彼は私の後ろでその内容を一生懸命聞き、ノートを取っていた。そのやり方は無駄が多いから、テキストとノートを使って実習を進めるように勧めたが、断固として彼は私の後ろから離れなかった。16時前になり、学生達の質問も一段落すると、彼は自分の席で実習を行った。彼の2学期の成績は80点で、無事クリアー。時間的には無駄が多くて、どこが大切かをまず知りたいという彼の願望から上記のような方法をとったのであろう。人にはそれぞれやり方があるものだと言われた。

C君が“非常に簡単な事でも質問して良いか？”と言ってきた。OKのサインを出すと、毎回実習終了後、誰でも知っているような事から少し複雑な事まで、色々な質問をしてきた。それはいつも1時間近くかかった。翌年の特待生の名簿に彼の名前があった。

彼等を見ていると、特待生と留年生との違いはIQの差ではなく、講義や実習時間に必死で勉強し、疑問点をなるべく早く解決するかどうかだと思ふ。

### 一言二言

第2学年 伏谷建造



2年生に進級した人も不本意ながらも留年した人も、それぞれに気持ちを新たにして、講義に・実習にと励んでいることと思います。特に2年に進級した人達は、独立した生活にエキサイトしたり困惑したり、また新しく始まった教科に充実感を抱

いたり戸惑ったりしているのではないのでしょうか。一人一人が生活や勉学でのペースをできるだけ早くつかみ、1学期を乗り切ってくれることを希望します。参考になりそうなことを二つ三つ述べます。

解剖実習や組織学では相当に鍛えられます。これらをこなす術を早く身につけましょう。例年、勉強方法が分からずに浮上できない人がいます。勉強方法がわからない人や迷っている人は、すぐに担当教員や小グループのチュータに相談してください。教員はとても親切に対応してくれます。

1学期にこなすべき内容は2学期に持ち越さないでください。2学期には分子生物学と生理学、微生物学が始まるので、1学期のやり残しをやる暇はありません。また、2学期の教科は1学期の学習内容のうえにあるので、1学期が不十分だと2学期の学習もおぼつかないものになります。なすべき時にチャンと行うことが大切です。また、これが総合試験の準備にもなります。

小グループ演習を疎かにしないでください。1学期にレポートを作成し、2学期に口頭発表を行います。ともすると、勉強・進級だけに埋没しがちですが、本当のところはその先にあります。医師には、学んだ知識を適切に運用する能力、持ち合わせていない知識を適切に学ぶ能力、多様な人々とのコミュニケーション能力が求められています。しかし、このような能力は一朝一夕には身につかず、自覚的で継続した努力が必要です。この能力を開発する一助として、昨年より小グループ演習が始まっています。自転車に乗れると一生乗れるのと同様に、小グループ演習で身につく能力はあなた方の将来を後押ししてくれる筈です。小グループ演習の意義を理解し、長期的視野に立って真剣に取り組んでください。

## 最近のニュースから思うこと

第3学年 富田正文



先日63年ぶりに日本の土を踏んだ元日本陸軍兵士・上野石之助さんのニュースが全国を駆け巡ったのを記憶している人も多いのではないかと。サハリンで消息が途絶え死亡宣告まで受けていた。戦後も日本に帰ることなく今はウクライナの女性と結婚

し平和に暮らしているという。なぜあえて今この記事をとあげようとしているのか。それは、彼が日本語をほとんど話せなくなっているということに対する私の驚きである。弟や妹に話をするのさえ通訳をつけているのではないかと。20年近くも日本国内で育ち、岩手県というから多分あの東北弁を自由に操り話していたはずなのに。そして、なによりも自分の伝えたいことをそのまま相手に、しかも彼の場合は弟や妹に伝えられないという歯がゆさをどうか想像してみてください。昔は自由に自分の言葉で伝えられたことを、今どうして伝えるべきか分からない。なんということ！ 普段まったく口にすることなく生活していると言葉までも失うのか！ この事実、これから医者になろうとする、そしてそのために新しいことをまだまだ学んでいかねばならない学生諸君に自学自習の重要性を示唆していないだろうか。自分が行動を起こさなかったら（彼の場合は日本語を話す機会がまったくなかったから）、進歩がないだけではない。それはすべてを忘却へと進ませる。最も基本的な「言葉」でさえしかりである。皆さんが医者になり社会人として活躍していく中で、まったく初めから知らない場合はまだ許されるかもしれない。しかし、確かに教えられたことのある事実にもかかわらず触れることも使うこともできない、その時覚える歯がゆさだけは、なんとしても避けたいではないか。そう思うからこそ、自分の知らないことに興味を持ち、もっと知りたい、もっと分かってほしいという気持ちを大事に、たえず学問に直面し自学自習してほしいと思う。その努力が出てこなくなった時、それは忘却への一歩に他ならない。



## 良く学び、良く遊び

第6学年 今井茂樹



あなたの好きな言葉は？ と問われて頭に浮かぶ言葉は、この「良く学び、良く遊び」という言葉です。

私自身の学生時代を思い出してみ、本当にこの言葉通り「良く学び、良く遊び」がちゃんと実践できたかどうか非常に疑問です。「良く学び、

に関しては、恥ずかしながら学生時代は試験の前と6年生になってから以外はあまり勉強しませんでした。私たちの学生時代は病態生理が十分に理解できなくても、医師になってから経験を踏まえて勉強していけばよかったのですが、現在はそうはいきません。じっくりと病態生理を覚えるのではなく理解することが重要です。社会に出てからは私も君たちに負けないように「学んで」います。そして日常診療にもメリハリを持って行動することを心掛けています。

私たちが学生だった頃の「遊び」とは何だったのでしょうか。「飲む」のは基本的に現在と変わりませんが、私が学生だった30年前は、倉敷に飲み屋ビルはなく、焼肉屋、焼鳥屋や平屋建ての Snackbar があるのみでした。しかし、夏場はビアガーデンが風物詩として思い出深く、当時は倉敷にもジャズのライブハウスもありました。「打つ」方は学生同士の麻雀が一般的で、暇があれば友人同士で楽しんでいました。しかし、雀荘に入り浸って、朝から児島ポートへ行っていた先輩達はみんな退学になってしまいました。パチンコは現在ほどメジャーな賭博ではありませんでしたが、ゲーム賭博にはまって大借金を抱えた友人もいました。インターネットでの株式を含めて学生に「打つ」はそぐわないように思います。また、「異性関係」は学生にとって永遠のテーマであることは今も昔も変わりありません。異性関係にのめり込んで学生としての道を踏み外すだけではなく、大切な友人関係等を壊してしまった学生も少なくありません。そして「趣味」です。スポーツ、音楽、映画鑑賞、読書、ボランティア何でも結構です。一生付き合えるような趣味を見つけて没頭できることは非常に幸せです。しかし、趣味に一所懸命は大切ですが、時にのめり込んでしまうことにもなるので、バランス感覚を持ちましょう。一見無駄に思えるいろいろな経験が人間としての幅を広げます。そういう意味でも「遊び」は大切です。

私の学生時代は「良く学び、良く遊び」ではなく「良く遊び、良く学び」でしたが、今後はこの「良く学び、良く遊び」精神を診療・研究・教育に実践していきたいと思っています。

## 君たちに願うこと

第6学年 勝山博信



今年の冬はトリノオリンピックが開催された。出発前の選手団のインタビューを聞くと、「プレッシャーに負けないでがんばる」「全力でベストを尽くす」などのコメントの他に「一番目立ってやる」「でかい火花を打ち上げる」「金メダルを取っ

てくる」というコメントも聞かれた。自信満々のコメントであったが、ふたを開けてみると大きな口（big mouthという）を叩いた若者の大半は予選落ちをしていた。テレビの解説者は彼らなりにがんばっていた、良かった、などとコメントしていたが、本当にそうであろうか？ 大きな口を叩きながら、この結果はどうしたことか、と思うのは私だけであろうか。敗者の美学が有るとすれば、最高の努力をした上で最善を尽くし、さらに謙虚に現実を見つめている者に送られる賞讃ではなからうか。先の選手には謙虚のかけらも感じられず、よって次はがんばれと応援を送る気もおきなかった。このbig mouthはオリンピックにでるような特殊な若者だけの特徴であればと、願わずにはおられない。

最近の学生は教科書や文献を読む力が落ちていっていると言われるようになって久しい。わからないことがあれば自分で調べる、理解できるまで繰り返し読む、ということが出来なくなっていると言われる。これは本学だけでなく、全国の大学で見られる現象であろう。又、社会全体のデジタル化が進んだおかげで、デジタル的発想で物事を考える者が増えているように感じる。このデジタル発想では0か1で結論を出してしまい、一つの疑問には一つの答えで満足してしまうことになるであろう。先のbig mouthにこのデジタル的発想が加わってしまうと、謙虚さを欠如した上にすぐに結論を出そうとする構図ができてしまう。

人生における何らかのゴールを設定することは大事であるが、少なくとも医師免許を取得することをゴールにすることは避けて頂きたいと切に希望する。医師免許取得はしょせんスタートラインに過ぎず、その後の人生目標をしっかりと立てて、謙虚にゴールに向かって進んで欲しいと願う次第である。

## 試験対策は健康管理から インフルエンザと花粉症

第6学年 秋定 健



この原稿を書いている5月に季節外れのインフルエンザが猛流行し、倉敷市のある中学校では学年閉鎖になっています。6年生の皆さんが2回目、3回目の卒業試験、国家試験と奮闘している時期は普通感冒にも罹患しやすいのですが、特にインフルエンザには要注意です。ご存知と

思いますがインフルエンザは通常11月から4月に流行します。1～3日の潜伏期間を経て突然38以上の高熱が出て発病し、悪寒、頭痛、筋肉痛、関節痛、全身倦怠感などの全身症状が現れます。その後鼻水や咽頭痛も起こり発熱は3～7日間続きます。リン酸オセルタミビル（商品名タミフル）という抗ウイルス薬がありますが、早期（48時間以内）に服用しないと効果がありませんし、極めて重要なこの時期に1～2日の寝込みは大きなストレスとなります。ですからうがい・手洗いなどの予防はもちろん、まだ余裕のある時期にぜひともインフルエンザの予防接種を受けて下さい。70%～90%の高い効果があります。それから葛根湯には抗インフルエンザウイルス効果が確認されており、普通感冒も同様ですが寒気がしたとき（熱が出る前）にすぐお湯に溶かして服用してみてください。早ければ15分で効果が出ますが効かなければさらにもう一服です。

スギ花粉症は年々増加し、国民の15%～20%が罹患しており国民病ともいわれています。もちろん通年性のアレルギー性鼻炎やイネ科・キク科の花粉症を含めると、皆さんの内30～40%ぐらいの方が何らかの症状を抱えていると思います。くしゃみ・鼻水・鼻閉・目のかゆみで集中力を欠くと、試験中はもちろん勉強上非常に不利となります。また重要な記憶を定着させる睡眠が妨げられることとなり、さらに睡眠不足はストレスからの開放も出来ず免疫力も低下して風邪を引きやすくなります。本症に対してはマスクや眼鏡などの予防とともに様々な治療薬があります。ただし試験勉強中に眠くなるような抗ヒスタミン剤は不向きです。最近では眠気の少ない抗アレルギー薬も多くありますし、ステロイドの点鼻や漢方薬の小青竜湯も良いでしょう。小青竜湯には麻黄が含まれ、むしろ覚醒に働くので受験生には適しています。予防にはCO<sub>2</sub>レーザーも有効で半年は効果があります。これまで何人もの学生さんにレーザー治療をしており好評でした。また昨年、6年生から8階大講堂で試験を受けるときくしゃみ・鼻水が出ますという相談を受けました。原因となる抗原が何であれ、アレルギー性鼻炎の方は鼻粘膜が敏感になっており、少しの気温・気圧・湿度の変化やストレスで症状が出ますし、ハウスダスト・ダニ・カビの影響も考えられます。施設課をお願いしてフィルターを交換していただきました。花粉症を含めアレルギー性鼻炎でお困りの場合は遠慮なくご相談ください。

## 特集①

# 校舎棟増築・改修の現況報告

## 校舎棟の増改修工事が始まりました

本学は、川崎学園の創設者である故川崎祐宣先生によって、「人間をつくる」「体をつくる」「医学をきわめる」の建学の理念のもとに設立され、全国から医学生が集まり、多くの良き臨床医を育ててきました。この伝統を継承し、さらに一層の良き臨床医を育成するため、このたび、同じく開学の頃、創設者の提唱でつくられた全国学生出身の県木、市木の樹々の緑に囲まれた丘陵地「ふるさとの森」の一角に、明るく開放的な増築棟（5階～10階）を建設します。また、現在の校舎棟を全面的にリニューアルし、先進的な医学教育環境を整備します。



このたびの増改修計画の全体構想は次のとおりです。

### 基本コンセプト

21世紀の医学教育のフロンティアとしての良医育成への教育環境の構築

#### 高機能な講義室の整備

- 1学年全員が収容できる中講義室を各学年に整備します
- 語学教育だけでなく、画像診断などの臨床教育を効果的に支援するIT機能を常備したマルチメディア教室を整備します
- 床面がフラットで座席数が多く、試験会場として、また多目的な用途に利用可能な大講義室を整備します

#### 自習室の拡張

- 学習啓発センターを拡張して、5年生、6年生の自己学習環境を充実するとともに、4年生の専用ブースを設けます

#### 小グループ演習対応の学習室の整備

- 小グループ演習などの各種グループ学習に利用できる、管理室との双方向会話が可能な学習室を新設します

#### 自然の営みに接する学生ラウンジの充実

- 「ふるさとの森」の自然環境を取り入れた、広く開放的なスペースを有する学生ラウンジを設けます

#### クラブ室の充実

- キャンパスライフの充実のため、クラブ室の増室、音楽練習環境の整備など、学友会クラブ室を拡張します

#### 快適な学生生活の環境づくり

- 学生生活のアメニティー向上を目指して、トイレ、ロッカー室、空調システム、エレベーターの再整備などを行います

#### 本館棟との渡り廊下を増設

- 建物内の移動の効率化、および教員・学生の交流を促進するため、6～8階の各階に本館棟との渡り廊下を設けます

すでに2005年12月から、「ふるさとの森」の工事該当エリアの植栽が移植されるなど準備工事が始まりました。2006年2月6日には、増改修工事の安全を願って、起工式が厳粛に執り行われました。2月に7階仮設渡り廊下への切り替え、3月に造成工事、4月からは、本格的に増築棟予定地の掘削工事および基礎鉄筋組、基礎型枠組などの基礎工事が始まっています。



このように、増築棟の建設工事は、2007年3月の竣工を目指して、作業が進められています。さらに、現在の校舎棟のリニューアル工事では、休暇期間などを最大限に利用して作業が行われます。

増改修工事は、現在の校舎棟のリニューアル工事も含めると、長期間にわたる見通しです。実際の工事にあたっては、最新かつ最適な工法が採用されていますが、やむを得ない騒音や各種設備の一時的な供給停止など、学生及び教職員の皆様にご迷惑をおかけすることとされます。皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願いいたします。

(大学事務局総務部企画室)



完成予想図

特集②

# 新入生オリエンテーションを終えて

## 体験・講話報告



### 新井 悠江

1週間のオリエンテーションは、非常に有意義であった。初めての大学生活を過ごすのは、楽しみがあるが、同時に不安も強く襲いかかる。せっかく入ったんだから遊びまわろうなんて、到底考えていないが、自由な時間の多いことや新しい友達や先輩方との交流が楽しく、つい流されてしまうことがある。私は1週間の中で、もっと自分のやりたいことを明確にしようと思い始めた。

進級するにあたり、過大なプレッシャーとストレスを感じるだろうが、それに怠らない程の努力と自信で乗り切りたい。そして、今もっている情熱を忘れないでいたい。

様々な経験を通して、これから先、すなわち将来についてよく考える機会が増えたことを嬉しく思う。この作文をコピーして、1年後の自分に読ませたい気がする。入学したての頃を思い出して、「頑張るぞ。」と思える自分でありたい。興味深い話をしてくれた皆さん、ありがとうございました。



\* \* \* \* \*

### 岩本 尚子



新入生オリエンテーションでは、大学に関する説明や講話を聞くだけでなく、旭川荘での実習や遠足などの予定が組まれており、非常に驚いた。入学後数日間は、ただ先生方のお話を聞いて終わると思っていたので、意外だった。しかし、そのお陰で緊張も随分解れ、多くの同級生と言葉を交え、共に笑い、親睦を深めることができたように思う。

先生方からのお話にも、不安を覚えたこともある。各学期毎の期末試験、学年末の総合試験、そして最後に待ち構える国家試験……。本当に自分はたどり着けるのか、乗り越えて行けるのか、心配でならない。

しかし、成さねばならないのは自分自身で、成せる可能性を秘めているのも自分自身だ。他の誰にも自分の代わりとなる人はいないのだから、努力することを忘れず、日々精進していきたい。そしてまた、大学の勉強も休日の息抜きもどんなことでも、やるからには自分なりに楽しんでいこうと感じた。

\* \* \* \* \*



### 川元 美緒

約1週間のオリエンテーションでは、これから6年間を共にする新たな仲間たちとの親睦を深めることができたり、素晴らしい講話をたくさん聞くことができたりと、大変貴重な時間を過ごせたと思います。特に印象に残ったのは、小グループで行った旭川荘です。普段接する機会がなかった自閉症の子供たちと過ごした2日間は決して忘れることのできない経験となりました。ここでは、たとえ自閉症という病気を患っていたとしても、子供たちは一人ひとり個性をもっているということ、そして自分の気持ちを伝えることがどれほど難しいかを知ることができました。これから医師を目指す者として、この日の体験を決して忘れることなく、このような病気と向き合っていきたいと思います。明日からの授業やこれからの生活に不安はまだありますが、自分がなぜ医師を目指したのかを常に考えながら、一生懸命努力していこうと思いました。





### 佐久間貴文

私は今回の川崎医科大学の入試、入学で初めて岡山に来たので、当然、知り合いも元同じ予備校の友人だけと少なく、多くの不安を抱え、ここ川崎医科大学の入学式に臨んだ。まず驚いたのがオリエンテーションにかける日数の多さであった。最初はその多さが嫌だと感じたが、一日一日をこなしていくうちに、私のような岡山が初めての生徒がこの大学に慣れるのには最適な日数、内容であると感じた。

まず初日の小グループ紹介で、初対面の生徒、先生と昼食をとることで気軽に話せるようになった。また、教授の方々の、先輩の話により、川崎医科大学について今まで以上によく知ることができた。そして、2日間の旭川荘実習は今回のオリエンテーションで一番印象深いものとなった。まず施設の広さに驚いた。そして、そこにいた方々は我々に非常に心を開いてくれ、私にとってとても楽しく、有意義な実習となった。

これからの大学生活、初心を忘れず、頑張っていきたい。



\* \* \* \* \*



### 肥田あきの

今回、3人の先生方の講話を拝聴し、自分は、医療人としてどうあるべきかという事を考えさせられました。

江草先生による川崎祐宣先生のお話は、非常に感慨深いものがありました。例えば、「医療費にお困りの方は、お申し付けください。」という言葉が、私の胸に深く刻まれました。この言葉は、川崎祐宣先生の、その場で困っている人々を助けるという姿が表れており、又、医療人としての私欲というものが全くありません。現在の日本では、その様な事をする事は、



不可能であるかもしれませんが、この川崎祐宣先生の、医療に自分の持てるもの全てを捧げられた姿勢は、現在の社会にも必要であると思います。

次に旭川荘についての感想を書こうと思います。障害者は、一家の恥として家の中に隔離されていた時代、川崎祐宣先生は、障害者のための施設を創立され、そこでその人々に対して、社会との交流を持たせるために、職業の訓練を導入されました。今の時代となつては、このようなことは当たり前の事です。しかし、医療福祉という概念がない時代に、この先進的な施設を創られたのは、川崎祐宣先生の、医療というものに対する真摯な姿勢のたまものであると思います。

私は、これから医学を学びながら、常に医療人としてあるべき姿を考え、その考えに向かって頑張っていこうと思います。

\* \* \* \* \*



### 周藤 泰章

ようやく医学部に入るという目標を越え、医師になるという新しい目標に向けて、新しい一歩を進み始めた私は、各先生方のお話を聞くことで改めてその困難さを感じ、それと

同時に医学生としての責任もまた強く感じました。

私のもつ理想の医師像とは、患者さんに常に向き合い信頼関係をつくり、心が通じ合う関係になれるというものであります。これは各先生方のお話に出てこられる川崎先生の姿そのものであります。川崎先生が社会に対して一生をささげ、されてきたことは並大抵のことではなく、私には到底できないようなことであります。しかし、先生の教え、やり方など多くの点で吸収してもつくせないものがあります。これを少しでも実践していくことを、将来医師としての目標としていきたいと思ひます。

今日のお話として、もう一つの柱である旭川荘について、私はほとんどなにも知りませんでした。少しは障害者に対して関心が広がっている今でさえも、社会ではあ

まり受け入れがたくとらえられています。そんな中、当時において障害者のための療養所をつくるということは画期的なものであり、多くの人の助けとなったのはまちがいないことであろうとお話から感じることができました。

これほどの偉大な先生が身近なお手本としておられることは幸せなことであり、建学の理念も医師である上で必要なことであります。これらのことを心に刻んで、これからの学習に対していきたいと思いました。



\* \* \* \* \*



### 釋舎 和子

今回3人の先生方のお話を聞き、医療について新たな思いを持つことが出来た。医療と福祉は一体である、という考え方についてだ。私はこれまで、二つは別個のものであると考えていたように思う。だがしかし、この二つの分類は江草安彦先生がおっしゃられたように、デカルトの二元論の考え方のような分類をして生まれたものなのだろう。

又、医療と福祉は一体であるが、医療人に普通分類されない一般の方でも無論福祉行為を行う事が出来るのだ、ということは先生方のお話だけでなく、実際に旭川荘へ実習に行ったことでより骨身に沁みた。医師になることを志し、ある程度障害をもった方のことを理解しているつもりでいたが、これは全くの思い込みであったと思知った。そしてスタッフの方々が利用者の方々と接しておられるのを見ながら、何も出来ないでいた自分に無力感を感じた。だがそんな無力感を抱きながらも、末光茂先生のおっしゃられていた、障害者の方々は不幸なのではない、ということを実感した。私が入らせてもらったのは成人の重度知的障害者の方の施設だったが、重度の自閉症の方が何人居られ、コミュニケーションをとることも難しかった。だが一人一人にそれぞれ好きな事や好きな物があって嬉しそうにされているのを見につけ、利用者の方々は不幸なのではなく、生きている今を懸命に生きておられ、障害者 = かわいそうという思い

は偏見に過ぎないのだと感じた。

このように、3人の先生方のお話を聞いたり、実習へ行ったりすることで、まだまだ未熟な私も進歩していきのたろうと思う。これから色々な授業や実習を通して川崎医科大学の教育理念に沿った医大生になれるよう努力したい。

\* \* \* \* \*



### 渡邊亜加音

今回の3人の先生方の講演を聞いて改めて感じたことは、医師というのは、医学を学ぶだけでは良医にならないということです。やはり、医師という職業は、人の命を相手にするので、たくさんの知識をしっかりと身に付けることがとても大切です。しかし、人間としての心を磨くことも同じくらい大切だと思います。江草先生のおっしゃった「話すと楽になる医者」、黒住先生のおっしゃった「患者に対する真の優しさをもつ医者」になるには、短時間では不可能です。長い時間をかけて、たくさんの経験をして、たくさんの人々から自分に欠けていることを学ぶことによって、なれるものだと思います。どんな人からも信頼されて、どんな人にでも優しくするのはとても難しいことです。特に患者さんは、心と体の両方が病んでいるので、とても不安定な状態にいます。そんな時に患者さんが一番必要としているのは、心と体の両方を健康にしてくれる医者です。私は、患者さんの全てを受け入れることができる医者になりたいと思います。

これから6年間で、医学の知識を身に付けながら、人間としての心を磨くためにも、何事も積極的に参加し、多くの人から学びたいと思います。人に優しくするのは思ったよりも難しく、自分に余裕がなければできません。自分のことのように相手のことを考えることができれば、本当にすばらしいと思います。今回の3人の先生方のおっしゃった「良医」に少しでも近づけるように、日々努力し、自分にプラスになることには意欲的に参加しようと思いました。



## 学友会①

## 学年代表者会議（1学期）報告

総務委員長 第3学年 北田 憲一



平成18年5月24日に行われました学年代表者会議で、各学年代表から大学側に出しました要望について、大学側からいくつか回答をいただいておりますので報告します。

#### 平成17年度2学期に学生から提出された 要望に対する大学側からの回答

- ・総合試験の解答が欲しい。  
問題の持ち帰りを認めているので、各自で解答してください。答えのわからないものは各々質問を受けます。
- ・警報が発令された日は休校にして欲しい。  
一律に定めるのは難しい。今まで通りにします。
- ・卒業試験の禁忌問題や正答率を公表して欲しい。  
昨年度から正答率の低い問題については解説を作成しています。
- ・8階大講堂でアレルギーが出るので調べて欲しい。  
フィルターの清掃と交換を行いました。

#### 大学側からの留意事項

- ・学報（学生版）の第4号の発行については、6月下旬を予定し、7月上旬に全学生（1～6学年）に配付したい。

#### 各学年からの意見・要望事項

##### 1年生からの要望

- ・寮から大学への地下道にアスベストがあるのではないかと。学園内全施設のアスベスト使用状況を調査し、改善・撤収に対処している。地下道はアスベストを使用していません。
- ・生物実習を午前（1・2限）・午後（3・4限）の4限通しにして欲しい。（カエル数・経費を節減できる。）  
現在、検討中です。

##### 2年生からの要望

- ・呼び出しの放送・チャイムが聞き取りづらい。放送の頻度を検討して欲しい。  
人にもよるのか、スピーカーの数や音量なのか。事務で効果的な呼び出し、頻度等を検討したい。

##### 3年生からの要望

- ・22時以降の大学・ブスの出入りを許可して欲しい。  
以前、保護者から深夜までの居残りについて度々厳しいクレームがあった。治安・防災上の問題があり、出入り制限を設けた。臨床実習で遅くなるのは仕方ないが、22時には終わるように要請している。
- ・MM前の駐車規制を緩和して欲しい。  
校舎建替えのため、建築工事関係のトラックが出入りしているが、身動きできない状況があった。校舎の前に消火栓があるので、駐車禁止の看板を立てているが無視して不法駐車を。6月1日(木)からは22時以降に車止めに施錠する。夜間に駐車したければ外来駐車場を利用して欲しい。

##### 4年生からの要望

- ・授業中にパワーポイントを使用する場合は講義資料を配って欲しい。

教務委員会等で相談し、次回返答したい。ただ、秘書室の負担が増大するため実現は難しい。CD-Rも検討する。

- ・校舎内だけ土足が禁止されている理由を教えて欲しい。  
教職員も土足ではない。医療人として同等の扱い。構造上の問題で病院棟に行かざるを得ない。また清掃の負担軽減や、医療現場で安全で端整な格好で患者さんと向き合い、不快感を与えない目的がある。
- ・30穴のシバラスの真中に2つ穴をもう少し大きくして欲しい。  
業者に依頼します。
- ・CBT・国試と期末試験・卒試の問題の内容に開きがあるのではないかと。  
CBTはコア・カリキュラムに、国試は医師国試出題基準に準拠して出題される。本学の問題もそれを考慮して出題されている。卒試・総合試験はブラッシュアップも行っている。問題も洗練されている。国試は臨床実習を重視している。大学は広い視野で先々のことを考えており、また大学の教育方針に準じて出題しているので誤解のないようにして欲しい。
- ・新校舎について学生にアンケートが取られるのではなかったかと。  
ぜひ学生の意見を反映させたい。総務委員長と相談し具体的に項目を絞ってアンケートを実施するので、真面目に答えて欲しい。

#### 役職教員からの提案・報告事項

##### 授業評価アンケートについて

- ・結果は各職員に伝えたい。
- ・後輩のためにもしっかり考えて、遠慮なく答えて欲しい。
- ・全体的なまとめは次回学報で報告する。
- ・平成18年度は1～2学期にかけて行う予定である。
- ・今年度から非臨床系学生の実習も調査する。

#### 大学からの留意事項

- ・附属高校グラウンド周辺の外灯を整備した（21時まで点灯する）。
- ・附属高校へ車を乗り入れる場合、駐車場は体育館前を使うこと。
- ・松島グラウンドの野球場のネット、バックネットを整備し、9mから12mに3m高くした。
- ・学生・職員駐車場で痴漢が出たので、特に女子学生は集団で行動するよう、注意すること。
- ・5月22日(月)に3年生男子ロッカーにタバコの吸殻が多量にあったため、再度起こすようであれば更衣室は閉鎖する。
- ・5月21日(日)早朝、ある部活のコンパで、カラオケ店で泥酔者を点滴していたことが通報された。追ってクラブに対して処分する予定である。

以上

## 学友会②

## 西医体新任評議委員の抱負

評議委員 第4学年 菅 篤 志  
評議委員 第4学年 大 淵 彰 之

春風の心地よい季節となり、ご父兄並びに学生の皆様におかれましては益々のご清栄のこととお喜び申し上げます。新1年生が校内を歩いていると新学期もいよいよ始まったかと身の引き締まる思いです。

部活の方も本格的に動き出し、早くも運動部では、夏に名古屋で開催される第58回西日本医科学生総合体育大会（西医体）を意識したチーム作りが始まったようです。西医体の評議委員も硬式庭球部の牟田裕紀から準硬式野球部に引継ぎが行われ、評議委員を新4年生の菅篤志、補佐を大淵彰之が努めることになりました。さっそく初仕事として、3月18日に第1回評議委員会に参加して



きました。会議は主幹校の名古屋市立大・西医体委員の皆様、初めてとは思えないほどの堂々とした司会進行と、西日本にある44の医学部の活発な意見交換により、外の肌寒さとは対照的にとても熱気を帯びたものになりました。いよいよ次回の5月6日に行われる第2回評議委員会で西医体の全競技の抽選が行われます。クジ運はあまりよくない方なので、岡山の最上稲荷にお祈りに行きたいと思います。



今年は冬期オリンピック、WBC、サッカーのワールドカップとスポーツの年と言っても過言ではありません。これらのスポーツの祭典に負けない位にすばらしい大会にするためにも、川崎医科大学評議委員として主幹校・名古屋市立の皆様と共に約半年と短い期間ですが頑張っていきたいと思います。

## 学友会③

## 第32回学園祭に向けて

学園祭実行委員長 第3学年 布 上 敏 和



今年の学園祭のテーマは「絆 How's it going?」に決まりました。「絆」とは家族や友人などの結びつきを離れがたくつなぎとめているものです。「How's it going?」は調子はどうだい？という意の挨拶で、この何気ない挨拶により新たな「絆」が生まれるのではないかという願いを込め、学園祭のテーマとして決まりました。学園祭は10月14、15日に開催される予定です。この日、地域の方、川崎学園関係者の方、多方面からの来場者の方との間に、新たなより良い「絆」が生まれるような学園祭を創り上げたいと思います。



## 学生のワクチン接種（B型肝炎・インフルエンザ）費用負担のお知らせ

平成17年度から4年生に対して、5年生の病院臨床実習開始前にHBs（抗原・抗体）検査を実施しております。検査の結果、陰性者には、ワクチン接種を3回実施することを強く勧奨指導していますが、ワクチン接種には高額な費用負担が必要となっていました。平成18年4月からは、大学保護者会のご援助により、B型肝炎ワクチンの費用の全額を負担していただき、さらにインフルエンザワクチンも費用の全額を負担していただけることになりました。

学生諸君は、決められた手続きをすると費用の全額が返金されることとなります。

詳しくは、校舎棟3階大学事務部学生課（内線33138、33137）までお問い合わせください。

## 学友会④

## クラブ紹介「水泳部」

主将 第4学年 大畑 絢

水泳部は毎週火・木曜日、午後5時半から福祉大学のプールで練習しています。練習には水球やシンクロといったものも取り入れ、毎回出席する人が飽きないように工夫しています。カリキュラムの都合上、普段はなかなか全員揃っての練習というわけにはいきませんが、夏合宿では総勢42名、各々目標を持って練習に励みます。そんな夏合宿にはイベントが盛りだくさんです。イベントと言えば、バーベキューや海水浴、花火といった楽しい夏の行事を思い浮かべるかもしれませんが、実はそれだけではありません。練習の中にもイベントがあります。それはスペシャル練習、通称スペ練です。たいていどの部にも夏合宿ならではの練習があると思いますが、水泳部のは150m×60本、100m×60本、100m×45本の中から自分にあったものを選んで泳ぐ練習です。正直、こんなしんどい事しなくても……と思われる方もいらっしゃるでしょうが、なぜか部員は楽なメニューを選ばないのです。おそらく、途中でやめようと思ったときに皆で励ましあい、完泳したときに味わえる達成感がそうさせるのでしょう。しかし、一人では到底できません。

水泳は個人競技と言われますが、自主練ではこなせない練習量でも皆と一緒にこなしてしまうという魔力が存在し、互いに士気を高めあえることから、団体競技以上に仲間を必要とする競技であると思います。近年、世の健康ブームに乗っかってか、単に水泳LOVE人口が増大しただけかはわかりませんが、今年も9名の新入部

員を迎え、かけがえのない仲間が増加傾向にあります。それに伴い、西医体での成績も上昇していることから仲間の重要性を感じます。また、西医体での成績上昇は水泳部のみにとどまらず、私が入学する前は最下位であったらしい大学としての総合順位が水泳部の活躍に比例して、徐々に上がってきています。これもひとえに、昨年度より西医体前後に催されている壮行会と報告会のお蔭で大学としての仲間意識が持てるようになった事による相乗効果ではないかと思えます。

今年の西医体は名古屋市のレインボウプールで8月11日(金)～13日(日)の日程で行われます。毎年、数名の水泳部のOB・OGの先生方から応援をいただき、部員一同感謝いたしております。また、顧問の藤田先生には日頃より暖かく見守っていただき、ご支援を賜りますこと、御礼申し上げます。昨年以上に練習に励み、良いご報告ができるよう精進して参りますので、今後もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



(左端が筆者)

## 話題

## ツクツクボウシ

外科学(胸部心臓血管)教授 種本和雄



夏の終わりを告げるツクツクボウシの鳴き声を聞くと、学生時代のことを毎年思い出します。あれは大学2年生の夏、日常のすべてをボートにかけける日々を過ごしていた我々は、西医体に向けて毎年恒例の辛く長い合宿生活に入っていました。その年もミンミンゼミが鳴く夏の前半は、試合に向けてすべてをかける日々で、他のことは何も視野に入らない生活でした。毎朝5時半起床でボート練習、昼の陸トレ、また夕方4時からのボート練習。その間の時間は練習がきついで死んだように眠り続けます。もちろん合宿所にはエアコンも何もありません。来る日も来る日もそのような合宿生活を続けた毎日でした。その年の西医体は佐賀県唐津で行われ、厳しい練習の末に我々としてはあるレベルに達したと思ひ試合に臨みました。しかし、試合ではスタートから他学のクルーに全く及ばず、また慌てたために漕ぎも乱れてさらに大きく離され、結果的にはメダルはおろか入賞も出来ずに試合を終えることになってしまいました。漕ぎ終わ

った時の無力感と自分自身の不甲斐なさへの怒りと情けなさがクルーメンバー全体に広がり、誰一人として声を出すことは出来ませんでした。試合を終えて後片付けをして、それぞれ荷物を持って唐津の駅まで歩いていました。青々と繁った街路樹のどこからともなく、ツクツクボウシの鳴き声が聞こえてきました。そのとき誰かが「もう夏、終わってしもうとるやん」とつぶやきました。その瞬間、自分たちの今年の夏は何だったんだろう、と思ひ始めると無性に涙が溢れて止まらなかったのを思い出します。虚しい夏の終わりを思いがけずツクツクボウシに教えられ、メダルも賞状も入っていないのにやけに重たいバッグを抱えて岡山まで帰ってきました。今でもツクツクボウシの鳴き声を聞くとあの頃は青春していたんだなあ懐かしく思います。しかしその悔しさをバネに、翌年の西医体完全優勝、関西選手権優勝、インカレ準決勝第2位と一定の成果を出せたこともまた良い思い出です。

## 学友会⑤

## 活動報告書

平成17年度後期学友会主要活動結果報告（平成17年10月～平成18年3月）

大会名・期間	競技種目	成績	学年	氏名	会場
平成17年度 中国四国新進大会 10 / 1(土)～10 / 8(土)	硬式庭球	ベスト8 8 / 584人 参加大学 36大学	2	木戸 歩	岡山大学テニスコート (岡山市) 川崎医療福祉大学テニスコート (倉敷市) 倉敷運動公園テニスコート (倉敷市) 百間川テニスコート (岡山市) 備前テニスコート (備前市)
中国地区大学準硬式野球 秋季リーグ戦 10 / 9(日)、10 / 10(月) 10 / 30(日)、11 / 12(土)	準硬式野球	川医大 5 - 0 山医大 (5回コールド) 川医大 3 - 4 広医大 川医大 12 - 2 鳥医大 (5回コールド) 川医大 4 - 3 鳥医大 3勝1敗			岡山大学野球場 (岡山市) 東伯総合運動公園野球場 (鳥取県)
第28回山陽新聞社杯 社会人学生ラグビーリーグ 10 / 11(火)	ラグビー	優秀選手	4 5	中島 義博 齋藤 互	岡山県営グラウンド (岡山市)
第31回 中国・四国医科学生 バスケットボール大会 10 / 15(土)～10 / 16(日)	バスケットボール	男子3位 ベスト5選手	1	大本 武児	高知県春野総合運動公園 (高知県)
第5回 COCOABEACH CUP 11 / 20(日)	サーフィン	ビギナークラス準優勝 (42名中)	5	高木 俊人	鳥取県東伯郡琴浦町八橋 (鳥取県)
中国・四国新人大会 3 / 17(金)～3 / 19(日)	硬式庭球	男子(Aグループ) ベスト4 4 / 57チーム 参加大学 10大学	3 2 1 1	森 隆浩 木戸 歩 三崎 孝昌 藤田 祥典	広島大学テニスコート (広島県)
九州・山口医科学生 体育大会 3 / 27(月)、3 / 28(火)	ソフトボール	3位			大分大学野球場 (大分県)
第44回 中国・四国医歯薬短 学生バドミントン大会 3 / 28(火)～3 / 30(木)	バドミントン	団体戦 男子4位 個人戦 男子ダブルス 第3位	5 5	小川 和昭 三木 敏耶	善通寺市民体育館 (香川県)



## ふるさと紹介

今回から学生諸君の『ふるさと』を紹介するコーナーを新しく設けました。

今回は、4名の学生諸君から『ふるさと』沖縄県宮古島市、熊本県天草市（旧牛深市）、岐阜県岐阜市、奈良県橿原市を紹介していただきます。



### 沖縄県 宮古島市

第1学年 竹内 淳

ふるさと紹介の投稿を依頼されました、一年の竹内です。よろしくお願いします。

自分は広島から来たわけですが、生まれは沖縄でして、今回は沖縄県宮古島市について書きたいと思います。

皆さん、沖縄と聞けば海を真先に連想されるのではないかと思います。実際、美しい海は島の売りなのですが、なぜか晴れた昼の海ばかりがもてはやされているのですね。自分のオススメの海は夕方です。少し雲の多い夕方に橋の上や展望台の上からではなく、砂浜まで行って下さい。そのビーチが西に面していれば、綺麗なオレンジ色の海を見ることができますよ。車に折りたたみできるイスとテーブルを積んで行って、ゆっくり流れる時間を楽しんでみて下さい。そのまま夜まで、ビーチにいて天の河を見て帰る、というのも面白いと思います。

さてさて、宮古島には海以外にも面白い事があります。それは「お通り」と言われる独特の宴会作法でして、一つのグラスに泡盛を注いで、参加者が順番に一気飲みをするという作法です。一气飲みが作法というのですから、とんでもない話ですが、神事が由来の伝統ある宴会なのです。宮古島では人間関係に欠かせない「お通り」なのですが、お酒が飲めない人は出世に響いたりして大変なようです。

日本人は約半数の人が酒を苦手とする体質だそうですが、沖縄県民は酒が飲めないのは約30%で、宮古島の人には約10%なのだそうです。皆さんが宮古島を旅しても、地元の人の宴会に加わるのはやめた方が良さそうですね。

最後にお話ししておこうと思うのは宮古島の農業についてです。沖縄の作物で有名なのは、さとうきびやパイナップルですが、それらに次いでさかんなのがタバコの栽培です。禁煙は社会の大きな流れになっていますし、実際タバコの害は認めざるを得ませんが、しだいに収入が減っていくタバコ農家の老夫婦の顔を見ると、少し複雑な気持ちになります。

いろいろと書きましたが、宴会にしても農家にしてもすぐに仲良くなれる人が集まっています。一度は宮古島を訪れてみて下さい。



### 熊本県 天草市（旧牛深市）

第1学年 松本 桃佳

私のふるさと熊本県牛深市は、天草諸島の最南端に位置し、県下唯一の港がある、水産業の栄えた町です。

今では、平成の大合併を経て天草市と名前を変えてしまいましたが、それでも自然豊かな、人情味あふれる町であることは変わりません。今回は、私にとって馴染のある“牛深市”について紹介していきたいと思います。

牛深は、昔から漁業の盛んな町で、イワシ御殿と呼ばれる家が建つほどでした。今では以前ほど盛んではありませんが、当時の漁師の人々の生活を唄にした「ハイヤ節」という民謡は唄い続けられており、その民謡に合わせて踊る「ハイヤ祭」が四月に催されます。このお祭は、最も牛深が盛り上がるイベントであり、毎年多くの人々が参加しています。近年では、外国人の方も多く見られるようになり、人々の交流が多くなっている事を嬉しく思っています。

牛深に来たことのある人の中には、牛深を「パスポートがいるくらい遠い」と言うほど交通の手段に乏しく、熊本市内から車で三時間はかかります。でも、三時間かけて来る価値があったと思わせてくれるほど、きれいに青く澄んだ海があります。特にきれいな海は、茂串海岸というところで、ここではNHK大河ドラマ「武蔵」の巖流島の戦いの撮影が行われました。茂串海岸の波は割とおだやかなので、海水浴やスキューバダイビングをする人が多く訪れます。なので、「海水浴場はどこですか。」と道を聞かされると、もう夏が来たんだな、と思ってしまいます。

また、牛深から少し離れた所にある天草西海岸の天草難の夕日は、見る者の心が洗われると言われるほど美しいものです。地平線のかなたに赤々と輝きながら沈む夕日は、一見の価値ありです。

天草、特に牛深は、遊ぶ所と言えば自然の中というほ



ど自然に囲まれた所です。なので、ホッとしたいと思った時はぜひ牛深を訪れてみてください。



## 岐阜県 岐阜市

第3学年 谷 哲郎

私の故郷は岐阜県岐阜市です。岐阜県と言われてもどこにあるのかピンとこない人が数多くいると思います。あるニュース番組では、岐阜という漢字は東京都では杉村議員に始まり半分以上の人が書けなかったそうです。そんなマイナーな県ですが私にとっては大事な故郷です。

岐阜って何があるのなとよく聞かれます。そうするといつも思い浮かぶのはまず長良川の鵜飼いです。鵜飼いは、鵜という鳥が口に入れた魚を飲み込む前に、船頭さんのような人がひもを使って吐き出させるという釣りのようなものです。私は幼い頃にそれを見て正直何がよいのだろうと不思議に思っていました。後々聞くと元々鵜飼いは全国的に行われていたものですが、近代化が進むにつれて鵜飼いはなくなっていき、最後まで残っていたのが岐阜県らしいのです。悪く言うと近代化されていかなかったといえるし、よく言えばまだ魚が住めるようなきれいな川があるということです。実際、高校生のときは学校帰りに友達と川に泳ぎによくいきました。いまでも実家に帰ると泳いでいる高校生をよく見かけます。それをみるといつまでたっても変わらずきれいな川だなあと感心します。夏には長良川の河川敷で中日新聞が主催する花火の全国大会があります。その日は果たしてこんなに岐阜市に人がいるのだろうかと思うほどの人が河川敷を埋め尽くし、屋台物を食べながら花火鑑賞をします。全国大会なだけにとてもきれいで迫力のある花火が見えます。それは岐阜の夏の風物詩の一つです。夏に川で泳ぎ、花火を見る。そう聞くととても田舎のイメージが強いと思いますが、名古屋からも近く、電車20分弱で着きます。岐阜自体はとてものんびりしていて最近まで路面電車も走っていました。

正直、岐阜は岡山よりも田舎だと思えます。ですが私はそののんびりとした雰囲気がとても好きです。ここでは挙げられないくらい岐阜の好きな部分がたくさんあります。岐阜は全国的にはマイナーな県かもしれませんが、ですが私にとっては心落ち着く場所です。皆さんも一度訪れてみては如何でしょうか。



鵜飼いの様子



## 奈良県 橿原市

第1学年 菊岡 祐介

私のふるさとである奈良県橿原市は、奈良県の中心部に位置しており、大和三山といわれる耳成山・香具山・畝傍山に囲まれた自然のとても多いところです。

橿原市は奈良県でも有数の史跡の多い市であり、橿原神宮や藤原京址などは有名なものでしょう。橿原神宮は記紀の伝える日本最古の天皇である神武天皇が眠っておられるといわれておりますが、その情報は確かなものとはいえません。まさしく神話の世界です。個人ごとではありますが、橿原神宮に初詣に行き川崎医科大学に合格したので効果はあるかもしれませんね。藤原京は694年から710年に平城京に移るまで都があったところです。隣町は明日香村という土地柄、工事のために土を掘るとなにか遺跡が出てきて工事がストップしてしまうのもこの市の特徴です。しかし逆にこのおかげで昔と今がうまく調和しているのかもしれません。町並みといえば、江戸時代からの風景を今井町というところでは町をあげて保存しています。春と秋には一般公開され、昔の日本家屋をととても近くで見ることができます。また今年ドイツでサッカーのワールドカップが開催されるということで、サッカーについて触れますと、橿原神宮の横にある橿原運動公園では2002年の日韓共催ワールドカップの際に、日本と予選リーグで対戦したアフリカの強豪チュニジアがキャンプをしました。それ以来橿原市はチュニジアと姉妹提携を結んでおり、市役所などにいくとチュニジアの伝統着などを手にとって見るすることができます。

この様に橿原市は、昔からの歴史を大事にし、今と昔の調和を意識したところです。日本がどう変わっても決して変わることはない歴史を大事にし、橿原市の風景・町並み・人間味を受け継いでいきたいと思えます。自分にとって特別な場所である橿原市にもしお時間があればどうぞお越しください。



現在、次回の『ふるさと』紹介の原稿も募集中です。貴方の『ふるさと』の思い出、名物、観光名所、伝統芸能、産業、気候風土、その他いろいろご紹介ください。詳細は、担当窓口、学生課までお問い合わせ願います。

## 学内紹介

### 庶務係

庶務係は学生課、教務係と同じ校舎棟3階の事務室にありますが、取り扱う業務が学生に直接関わるものが少ないため、学生の皆さんには馴染みが薄いと思います。

今回は庶務係の業務の中から特に皆さんに関わりのあるものとして、解剖学の献体についてお話ししたいと思います。

皆さんが2学年の解剖学実習で人体の構造を学ぶためのご遺体は、すべて善意により提供された「献体」によるものです。

献体とは、医学・歯学の大学における人体解剖学の教育・研究に役立たせるため、自分の遺体を無条件・無報酬で提供することをいいます。

全国の医学・歯学の大学には篤志献体の会があり、「自分の死後、遺体を医学・歯学の教育と研究のために役立てたい」ところざした人が、生前に献体したい大学または関連の団体に名前を登録しておき、亡くなられた時、遺族や関係者がその遺志にしたがって遺体を大学に提供することで献体は行われています。

本学においても大学が設立されてから4年後の昭和49年に「くすのき会」という篤志献体の会が発足しました。当初は献体に関する社会的な認識も低く、実習に必要なご遺体が不足し、解剖学教育にも支障

をきたすような状況でしたが、献体に対する理解と協力を求めて、地道に献体の普及啓蒙活動を続けてこられた解剖学の教職員や関係者の長年にわたる尽力により、現在では約1,460名の方が会員として登録されておられます。

庶務係では解剖学教室と共同でくすのき会の入会の受付から亡くなられた後の事務処理まで会の運営に関する業務全般に携わっています。また、毎年5月には医学の進展のため捧げられた御霊への追悼と感謝を捧げるため、メディカルミュージアムにおいて、御遺族、学生の列席のもと解剖体献体慰霊祭を厳粛に執り行っており、慰霊祭終了後に御遺族へ御遺骨をお渡ししています。

医学教育の基礎である解剖学は、皆さんが尊いご献体に接することで医学の知識を習得するだけではなく、生命の尊さや医の心を学び、医師としての倫理観や人間性を身に付ける上で非常に重要な役割を担っています。

将来の医師を目指し日々勉学に励んでいる皆さんが、良い医師の育成に役立ちたいと自らすすんでご遺体を献ぜられたくすのき会員の皆様の尊いご芳志を通じて、医療人としての人格、意識を培い、人間味あふれる立派な医師に成長して社会に貢献されることを期待しています。

この学報が発刊され学生の皆さんに読んでいただく頃には、小林係長さんの後、教務係で仕事をしています。どうぞよろしくお願ひします。

(加藤記)

## 編・集・後・記

学報学生版第4号をお送り致します。今回も多くの学生諸君・教職員から貴重な原稿をいただきありがとうございます。この第4号は各学年の副担当の先生から学生さんへの熱いメッセージがあります。本学園には医大生のふるさとの県木、市木が植えられた「ふるさとの森」があります。この「ふるさと」を学生諸君に紹介していただくコーナーを新設しました。

サッカーのワールドカップ・ドイツ大会が始まりました。マスコミは1回戦に勝つと決勝トーナメント進出87%と絶叫調で報じています。あたかも実力のないチームでも1回戦に勝ちさえすれば決勝トーナメントに楽に進めるかの如くです。1回戦に勝って決勝トーナメントに進めなかった13%のチームがすべて弱いチームばかりだとしたらどうでしょう。弱いチームはフロックで1回戦に勝っても決勝トーナメントには100%進めなかったということになります。つまり、比較すべきコントロールのない情報だけでは判断できないということです。実際、予選リーグの1回戦は強いチームと弱いチームが当たることになっていますので、1回戦に勝った87%のチームが決勝トーナメントに進んだからといって何の不思議もありません。不運にも日本チームは1回戦で負けました。ロスタイムで失った3点目、これが運命を決めそうです。

この学生版の学報には諸先生方の学生に対する貴重なアドバイスとしてのコントロール不要の絶対的価値のある情報が満載されています。これらを学生諸君は活かして有意義な学生生活を送っていただきたいと願っています。

(近藤記)